バイオマス原料の循環流動層（CFB）燃焼試験

豊富な経験・知識を基に、バイオマス原料の燃焼試験、分析・評価を支援いたします。

CFBによるバイオマス原料の燃焼

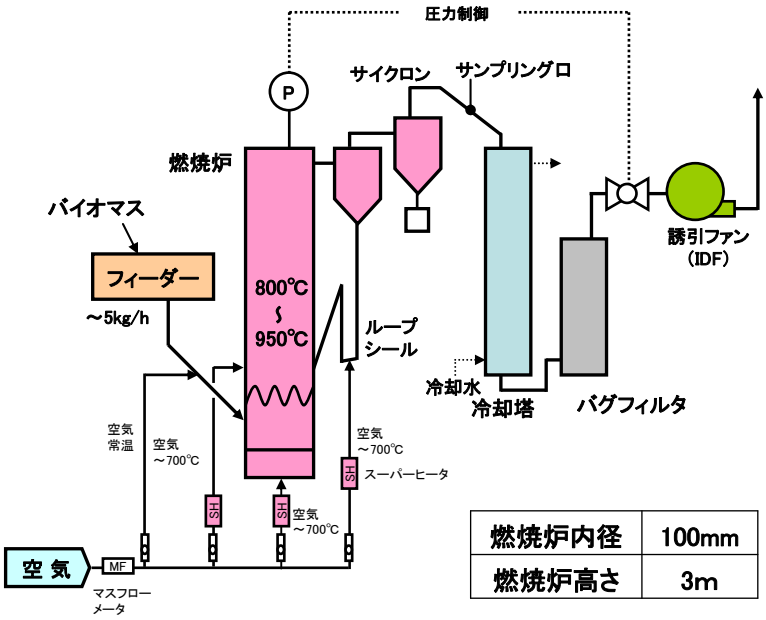
● バイオマス燃焼

バイオマス原料を用いて発電した電力は、固定価格買取制度（FIT）適用の電力単価で買い取られることから、多くの発電事業が計画されています。お客様のバイオマス原料がどのような燃焼挙動を示すか、事前に確認したいというニーズにお応えいたします。

● 循環流動層（CFB）とは

CFB（Circulation Fludized Bed Boiler）は、燃料粒子を燃焼空気によって流動化する流動層燃焼の一種で、火炉の出口に飛散粒子の捕集循環回路を設けています（図1参照）。この方式は、（1）燃料適合性が高い、（2）環境負荷が低い（比較的低い燃焼温度（800 ～ 950℃）でNOx排出抑制）、（3）低空気比燃焼が可能、（4）設備の経済性が高い、という特徴を有しています。

CFB試験機の概要



燃焼炉内径	100mm
燃焼炉高さ	3m

図1　CFB試験機概略フロー図

図2　CFB試験機全景

バイオマス原料例

木くず、木質ペレット、PKS等の燃焼試験を実施いたします。
ご利用をお待ちしております。

図3　木質ペレット

図4　PKS

JFE テクノリサーチ 株式会社
http://www.jfe-tec.co.jp
0120-643-777

Copyright ©2014 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

Cat.No　3S3J-164-00-140210